



プレスリリース

2015年4月27日

リー・ヨンUNIDO事務局長の公式来日 2015年5月13日(水)～16日(土)

国際連合工業開発機関(UNIDO)のリー・ヨン事務局長が、2015年5月13～16日、来日します。本来日は、外務省、経済産業省、国際協力銀行、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)など日本の政府機関の高官と会談を行い、UNIDOと日本の協力関係の強化を議論すること、国連のポスト2015年開発アジェンダにおける産業開発の重要性を訴えることを目的としています。また、同事務局長は、UNIDO、日本企業、開発途上国間のグローバルパートナーシップを促進するため、経団連を含む日本の民間セクターとも会談を予定しています。また、本来日中、在京アフリカ外交団(ADC)を代表する大使たちとの意見交換の他、「UNIDOセミナー」の開催を予定しており、アフリカの中でエチオピアやセネガルを対象とした新たなパートナーシッププログラムをはじめ、東アフリカ共同体への投資、技術移転促進などのさまざまなプログラムを取り上げます。

主要メッセージ

1. 貧困は、依然として世界の中心的な課題であるが、包摂的かつ持続可能な産業開発、特に雇用、所得、富の創造を通じてその解決に取り組むべきである。
2. 開発途上国における日本企業との官民パートナーシップの強化・拡大は、双方にとって有益である。
3. UNIDOは、ポスト2015年開発アジェンダ策定プロセスに積極的に参加し、ISID(包摂的かつ持続可能な産業開発)が、さまざまな社会的課題の解決に果たす役割の重要性を主張している。

・包摂的かつ持続可能な産業開発(ISID)

すべての人々が参画し、全ての国の人々が、誰ひとり取り残されることなく産業の成長から恩恵を受け、環境と両立し得る産業開発。

・ポスト2015年開発アジェンダ

<https://sustainabledevelopment.un.org/sdgsproposal>

国連の主導で国際開発の枠組みを規定するプロセス。2000年に策定され、2015年に達成期限を迎える8つの開発目標「ミレニアム開発目標」(MDGs)の後継となるもの。

・UNIDOセミナー(2015年5月14日(木)開催)

<https://www.unido.or.jp/coming/2015/>

国際連合大学本部で5月14日(木)午後2時から開催されるセミナー「持続可能な産業開発と繁栄の共有～ポスト2015年開発アジェンダ時代の官民連携～」は、さまざまなパートナーシップに焦点を当て、エチオピアやセネガルでの産業開発計画(パイロット・プログラム)およびISIDを紹介。また東アフリカ共同体(EAC)における日本の投資促進や技術移転に関する活動を取り上げる。

・UNIDOとは

<http://www.unido.org>

国際連合工業開発機関(UNIDO)は、途上国の持続的産業開発を支援する国連専門機関の一つ。設立は1966年、本部はオーストリアのウィーン。

連絡先:

メディア・コンサルタント 梶林直子 n.tochibayashi@unido.org

UNIDO東京投資・技術移転促進事務所(UNIDO東京事務所)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70 国連大学本部ビル8階

Phone: 03-6433-5520

Fax: 03-6433-5530